

# 高次脳機能障害に対応



④ 柳沼院長の概要や設備の解説をする

## 郡山に県内初

郡山市の医療法人やぎぬま心療内科（柳沼正俊院長）は23日までに、交通事故による脳外傷や脳梗塞（こうそく）などによる脳血管障害で、記憶や言語などの高度な脳の働きに障害が出る「高次脳機能障害」を持つ人のためのデイケアを開設した。柳沼院長によると、同障害を持つ人のためのデイケアは県内で初めて。

# デイケア施設誕生

**Q** 高次脳機能障害 病気や事故などで脳に障害を負ったこと、記憶力が低下する、怒りっぽくなる、複数の動作を同時にできない、物事を順序だてて取り組むことができない、などの症状が現れる。病気や事故で一命を回復して外見上の障害は周回の理解が難しいことか「見えない障害」といわれる。

県と同心療内科、総合南東北病院内の県高次脳機能障がい支援室、家族会「脳外傷友の会つくしま」は23日、同心療内科で顔合わせを行い、4者が抱える問題点や現状などを話し合った。

50万人、本県でも数万人の患者がいるとされる。

柳沼院長は「こういう施設があれば、救われる人が増えると思う」と話す。

同障害は、患者自身やその周囲、医療従事者や行政への認知度がまだ低いため、患者数も正確には把握されていないが、柳沼院長によると、全国で推定約1

トレーニングで社会復帰を支援  
デイケアでは、看護師、作業療法士、パソコンインストラクターの計3人が対応。さまざまな作業・技能トレーニングを通して社会復帰へ近づけるようにする。問い合わせは県高次脳機能障がい支援室（総合南東北病院内、電話024・934・5680）、やぎぬま心療内科（電話024・936・7755）へ。

936・7755）へ。